

## 社会福祉法人寿楽園×SDGs※

持続可能な社会の実現と地域貢献は社会福祉法人の当然の使命であり、SDGsの理念と合致します。寿楽園と職員はSDGsの世界共通の目標を法人の経営に取り入れ、持続可能でよりよい社会の実現に取り組みます。




※SDGsとは（Sustainable Development Goals）

「誰一人取り残さない」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標。2015年国連サミットにおいてすべての加盟国が合意し、2030年を達成年限とした17のゴールと169のターゲットから構成されています。

項目	国連の目標	法人の取り組み等
<p>1. 貧困をなくそう</p> 	あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ	介護保険サービス：低所得で特に生計が困難である方の利用者負担額を軽減しています。 老人保健施設：無料または低額な料金によって医療・福祉を提供しています。
<p>2. 飢餓をゼロに</p> 	飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する	配食サービス：市町の受託及び独自事業で食事を提供しており、生活困窮者には低額な料金によって提供しています。 災害対応：各施設では非常食や水を備蓄し、3日～1週間程度の食事提供ができる体制を整えています。
<p>3. すべての人に健康と福祉を</p> 	あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する	昭和27年の法人創立以来、時代のニーズに応じてきた結果、高齢者介護、障害福祉サービス、診療所、配食サービス等を佐賀県3拠点、福岡2拠点、大阪府1拠点、神奈川県2拠点で事業を展開しています。
<p>4. 質の高い教育をみんなに</p> 	すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する	新人研修・現任研修・監督研修・管理職研修などの階層別職員研修他、研究発表会などを開催し、福祉人材を育成しています。 法人独自の奨学金制度により、准看護師、看護師、介護福祉士等を目指す方を支援しています。

<p>5. ジェンダーの平等を実現しよう</p> 	<p>ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る</p>	<p>仕事と子育てが両立できるように、小学校第3学年修了までの子を養育する職員等へ短時間勤務が行える環境を整備するほか、子の看護休暇（有給）の取得を促進しています。事業所内託児所を2か所設置運営しています。</p>
<p>6. 安全な水とトイレを世界中に</p> 	<p>すべての人に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する</p>	<p>被災時に72時間対応可能な飲料水を確保すると共に、給水設備の強化に取り組みます。また、福祉避難所や二次避難所等として受け入れた被災者にも安全な飲料水及び衛生的なトイレを提供します。</p>
<p>7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p> 	<p>すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する</p>	<p>LED化の推進、効率のよい空調設備への更新及び、室温調整の一括管理により、温暖化防止に取り組んでいます。</p>
<p>8. 働きがいも経済成長も</p> 	<p>すべての人のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）を推進する</p>	<p>障がい者、エルダー職員、外国人など様々な背景をもつ人が働ける場を設けています。</p>
<p>9. 産業と技術革新の基盤をつくろう</p> 	<p>強靱なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る</p>	<p>ICT・IoT機器、介護ロボットの導入を推進し、介護サービスの生産性向上・リスクマネジメントの強化に取り組むと共に、PDCAサイクルによる科学的介護を実践しています。</p>
<p>10. 人や国の不平等をなくそう</p>	<p>国内および国家間の格差を是正する</p>	<p>就労支援、障害者雇用：就労に必要な生活リズムが崩れている、働いたことがない、働いても長続きしない方に対して、生活習慣を整</p>

		<p>え、社会参加、就労体験の場を提供しています。</p>
<p>11. 住み続けられるまちづくりを</p> 	<p>都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靱かつ持続可能にする</p>	<p>利用者が住み慣れた地域において、生活が継続できるように、訪問、通所、配食、施設サービスまで途切れのない総合的な支援を提供しています。</p> <p>自治体や地域自治会等との災害時協定：市区町村と福祉避難所契約や地域と防災協定を締結しています。</p>
<p>12. つくる責任つかう責任</p> 	<p>持続可能な消費と生産のパターンを確保する</p>	<p>調理工程での廃棄、食事提供後残飯の削減に向け、発注方法、保存方法を見直し、フードロス削減に努めています。</p>
<p>13. 気候変動に具体的な対策を</p> 	<p>気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る</p>	<p>土砂災害を防ぐために、敷地の防災工事や植栽整備を行っています。</p> <p>デマンド装置を活用して電気（空調設備）の使用量削減に努めています。</p>
<p>14. 海の豊かさを守ろう</p> 	<p>海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する</p>	<p>利用者の食事は、地元でとれた食材を取り入れています。（地産地消の推進）</p> <p>調理後の廃油については、業者に回収してもらい適切に処理しています。プラスチック、食品トレイの使用削減にも取り組んでいます。</p>
<p>15. 陸の豊かさを守ろう</p>	<p>陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならび</p>	<p>マニフェスト制度を活用し、不法投棄による土壌汚染を防ぎます。</p>

	<p>に生物多様性損失の阻止を図る</p>	
<p>16. 平和と公正をすべての人に</p> 	<p>持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、すべての人に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な制度を構築する</p>	<p>地域包括支援センターによる権利養護活動他、虐待防止委員会にて職員教育を行っています。(虐待防止への対応) 投票所まで行けない利用者に対し、不在者投票を実施しています。</p>
<p>17. パートナーシップで目標を達成しよう</p> 	<p>持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する</p>	<p>地域包括支援センターにて公的福祉のみに頼るのではなく、住民とも力を合わせ、その地域で安心して住み続けられる社会を作ることを目指しています。</p>